

【キーワード：米粉、直売所、商品開発】

新たな米粉のビジネス化に向けた推進

【庄内総合支庁農業技術普及課】

- ◆課題名 新たな米粉のビジネス化に向けた推進
- ◆活動の対象 庄内直売組織連絡会議およびモデル組織
- ◆実施年度 平成21～22年度
- ◆ねらい

販売アイテム拡大 小麦価格の高騰を契機に米粉への関心が高まっており、特に米を基幹作物とする庄内地域では、米粉による米消費拡大への期待が高まっている。そこで、米粉による直売所の販売アイテムの拡大や、食堂部門の新たなメニュー化など、直売所の新たな魅力づくりに取り組み、販売額拡大を図る。

加工技術等の習得 新たな素材である米粉は、製粉方法の違いによる加工適性等についての情報が不足しており、米粉加工に取り組む農業者の数はまだ少ない。また、米粉加工に取り組もうとする農業者は原料調達や加工コスト面の課題がある。米粉に関する基本的情報の提供や加工技術の指導により米粉利用の底辺を拡大する。

直売ネットワーク 直売組織が連携して取り組むことにより、一般消費者への効果的な認知度向上を図る。

◆活動の成果

米粉加工品の試作 1. モデル組織（産直あぐり）が、米粉麺のメニュー化に向けて試作と試食アンケートを実施し、高評価を得た。また、米粉まんじゅうの商品化に向けて試作販売した。

イベントによるPR 2. 米粉をテーマに「庄内直売所まつり」を開催し、10 組織が米粉加工品や料理のPRを行った結果、一般消費者へのPRが図られた。
3. 新たに米粉や米粉パンの販売に取り組む直売組織が出てきた。



米粉麺試食アンケート（11月23日、産直あぐり）

◆活動の経過

米粉利用拡大プロジェクト 1. 庄内直売組織連絡会議全体会議で米粉利用拡大プロジェクトへの取り組みについて提案し、11 組織が①米粉の販売②米粉の加工品づくり③米粉の食堂での利用④米粉のイベント開催にそれぞれ取り組むことになった。

基礎知識の習得 2. 近畿米粉食品普及推進協議会副会長 瀧尾佳明氏を講師に、米粉に関する基本的な知識や活動事例を学ぶ研修会を開催（8月26日）。庄内全域の直売・加工関係者など、約60名が参加した。

PRイベント開催 3. 「秋の庄内直売所まつり（10月10日～11月3日）」の「食の体験教室」を米粉をテーマに開催。10ヶ所の直売所が米粉加工品の試食体験や米粉料理教室など、様々な消費者交流イベントを実施し、消費者の認知度向上を図った。

加工技術の習得 4. 初心者を対象にした「米粉加工品づくり研修会」（11月27日）や、米粉パンに関心の高い人を対象にした「プロに学ぶ米粉パン加工研修会」（1月26日）を開催し、米粉の和菓子や、米粉パンの加工技術の習得を図った。

交換会 5. 「米粉利用拡大プロジェクト交換会」（2月26日）を開催し、次年度のレベルアップに向けて各組織の取り組み内容を交換し合った。

モデル組織支援

6. モデル組織（産直あぐり）を対象に、米粉麺のメニュー化にむけて試食会や消費者アンケートを実施し、米粉麺導入の検討素材とした。

◆今後の展開

プロジェクト継続

1. 米粉利用拡大プロジェクトを継続し、米粉の利用拡大に取り組む直売組織数を増やすことにより、米粉利用の底辺拡大を図る。

モデル組織支援

2. 米粉を使ったメニュー開発や米粉パンの新商品開発など、モデル組織の取り組みを更に支援することにより、他組織への波及効果をねらう。

他組織との連携

3. JA女性部等も含め、米粉に関心の高い他の組織とも連携しながら、地域全体の米粉利用拡大を推進していく。



米粉ビジネス研修会（8月26日、水田農業試験場）



プロに学ぶ米粉パン加工研修会(1月26日、鶴岡ガス株式会社)

◆協力機関

各市町、庄内総合支庁産業経済企画課、農業振興課、県農業総合研究センター